

＝ 中 ＝ 進む!! 川床中!!

長島町立川床中学校 便り

第12号

令和8年3月10日（火）

旅立ちの日に～このひろい大空に～

校長 秦一成

入試の面接練習で必ず質問したことが3つあります。「志望動機」「どんな高校生活にしたいか?」と「中学校生活の一番の思い出」の3つです。生徒たちは、一生懸命自分の返答を準備して、カチコチになりながら答えてくれました。「将来の目標のために大学に行きます。」「〇〇な仕事に興味があるので、資格をとれるこの学科を選びました。」「部活動と勉強を両立した楽しい学校生活にしたいです。」「勉強を頑張って資格を取りたいです。」など、一生懸命考えてきたことを伝えてくれました。一番の思い出には強歩大会や修学旅行、体育大会と答えてくれました。みんなで力を合わせて成功させたことが強く心に残っているようです。名曲「旅立ちの日に」のように、仲間と過ごした3年間を胸に、自分の将来にむかって大空へ飛び立ってくれることでしょう。

卒業式の式辞を書いていると、3年生が卒業するということが現実味を帯びてきます。昼休みに図書室で見かけた顔ぶれや校庭でサッカーをする元気な姿、放課後の公衆電話前でのおしゃべりする声も聞こえなくなることを思い浮かべながら、教員として、もっと、伝えておくべき事があったのではないかと。もっと、一緒に感動することができたのではないかと。もっと、力をつけてあげられたのではないかと。など、振り返る自分がいます。

私から最後に伝えたいことは、「4つの言葉を忘れないでいてほしい」ということです。もちろん川床中学校の校訓の4つの言葉です。川床中学校で学ぶ人たちに受け継がれてきた「人生訓」といえます。こんな人になってほしいという願いが込められた言葉です。

進取：自分から進んで**永続**：最後までねばり強く**協同**：周りとの力を合わせて**健康**：心身や自他を大切に

この4つ校訓は、みなさんの心の奥底に根付いていると思います。これからの進路において迷ったとき、普段の生活を振り返るとき、この4つを思い出してください。きっと素晴らしい判断や良い決断をすることができることでしょう。

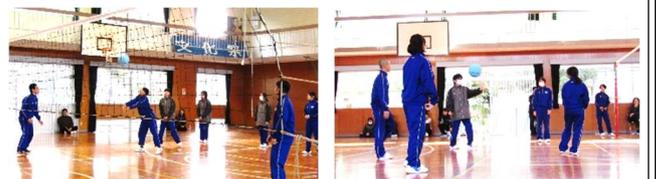
川床中の3年生は、「素直」に話を聞いてくれました。授業中、どの授業を観ても一生懸命チャレンジしている姿がありました。あきらめずに頑張っていました。何かの作業の時には、自分から動いたり、誰かが一人ぼっちにならないようにしたりしていました。体育大会や文化祭を通して、クラスの輪がまとまり、元気に登校し続けてくれました。こんな素直で元気な子どもたちは、新しいステージにおいて、多くのことを学び、吸収していける人材だと言えるでしょう。

数年後、長島でプリの養殖やジャガイモ作りに携わっていたり、長島町のイベントにスタッフとしてお客さんたちをもてなしていたりと、社会の一員として立派な青年になっている姿の3年生と再会できることを想像し、願っています。

地域のみなさんの声かけのおかげで子どもたちは立派に成長しました。卒業しても地域の子どもであることには変わりありません。これからも卒業生たちを応援していただき、彼らの成長を見守り、励ましの声をかけていただきたいと思います。

クラスマッチ

3月9日（月）、生徒会生保部が中心となって、クラスマッチを実施しました。今年度は、ソフトバレーボールでした。全員、全力プレーでした。



※ 3月25日（水）18：30～ PTA送別会を大橋食堂で実施します。